

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第2回防災部会				
(2) 開催日時	平成29年7月11日（火）10:00～12:00				
(3) 開催場所	さぼーとぴあ 多目的室				
(4) 出席した委員、事務局等	委員（部会長：志村 陽子）				<敬称略>
	田邊 俊子	竹内 千代江	岡戸 繁樹	栗田 修平	蛭子 明子
	在原 寛子	富丘 浩之	広瀬 健次郎		
	オブザーバー：八尾 隆一（蒲田警察署）、奥島 明彦（大森消防署）、 中村 幸二（田園調布消防署）				
	区職員：長沼 宏幸（災害時医療担当課長）、 阿部 幸喜・伊豆藏 修一（防災危機管理課）、 鎌田 裕一（上池台障害者福祉会館長）、吉田 実（障害福祉課） 小泉 洋子（障がい者総合サポートセンター）				
事務局：平野 理恵子・関根 あずさ（障害福祉課）					
1 出欠者の確認					
2 配付資料の確認					
3 書記の確認 →富丘委員（都立城南特別支援学校）					
4 連絡・報告					
5 議題					
(1) 年間スケジュールについて					
前回示したのから変更 9月26日、12月18日で確定させる。					
(2) ヘルプカードの見直しについて					
・書式のことの検討だけでなく、書き方のレクチャーが必要。					
・障がいのある人は、自分で記入ができないことが多々ある。チェック欄に印をつけるくらいが望ましい。またチェック欄の文を見ることで、イメージがもちやすい。書く側も見ると助かると思う。					
・自由記入欄は広く設定してほしい。チェック欄の文を補足するために活用したい。					
・ストラップについて、出された意見等がそのまま反映できるわけではない。それぞれの使いやすさがあり、現在も自分で手を加えて使用している人もいる。解決できる具体策があるか、部会委員で検討。					
・ストラップは作業所で分担して作っているの、発注から納品までに時間がかかる。希望者は時間に余裕をもって伝えてほしい。教員も学校で保護者に伝えて。					
・ヘルプカードのポスター、残部は70枚。					
(3) 学習会開催の検討					
平成29年9月26日 消費者生活センターを会場に 鍵屋一先生の講演					
・タイトルに、「地域」を入れたい。「地域の災害に備えて」ではどうか？					
・地域で暮らす者として、地域の方々に多く参加していただきたい。					
・学校での研修会では、参加者をグループに分けての討論が基本形。当日いきなり割り振ると、難しいかもしれない。参加者がはっきりしたところでグルーピングが					

できるよう考えてみる。

・これを縁に、区の活動の指導をしていただけると良い。御本人でなくても、お弟子さんでもよい。

(4) 震災発生時の安否確認について

前回事務局に預けてあった宿題。すでに取り組んでいる6地域の事例を基に検討。避難状況を示すステッカーやハンカチ等の玄関への掲出を定めている。

・確認等には有効だが、掲示することで犯罪を誘発する可能性もある。防犯は課題となる。

・学校の防災訓練では、災害時伝言ダイヤルの試用を行った。1日と15日は訓練での使用が可能。

(5) その他

○防災訓練の参加・協力の検討

10月8日(日)15日(日)22日(日)の3日3会場で大田区総合防災訓練を実施。参加できるよう検討してほしい。内容について、作業部会等で意見を。

・災害時の車いす体験(悪条件下での操作の大変さ等)を盛り込んで。

・さぼーとびあの備品に、車いすを牽引するものあり。その体験もよい。

6 委員及び各関係機関からの情報提供

① 矢口特別支援学校からの情報

7月28日(金)午前 福祉避難所開設準備訓練 希望者はFaxにて連絡を。
同日午後、防災講演会「災害から障がい者を守るために」を予定。

② 災害医療フォーラムについて

9月9日(土)14:00~18:00 片柳学園蒲田キャンパス3号館にて
講演会、パネルディスカッション等

③ 長崎地区支援委員会

9月16日(土)さぼーとびあにて講演会

○情報発信!共有シート

田園調布特別支援学校の避難訓練についての報告

月一回、想定を地震・火災・津波・不審者等いろいろ変化させて行っている。

通所施設でも昨今の事件等を受けて、対応マニュアルを作っているが、訓練はあまりやれていないのが現状。学校からの情報をうまく活用してほしい。

※次回日程

第3回作業部会 8月3日(水)10:00~12:00 さぼーとびあ5階 多目的室

第3回部会 8月8日(火)10:00~12:00 さぼーとびあ5階 多目的室